

平成27年度当初予算の概要

平成27年度予算が、第1回町議会定例会で可決され、一般会計など3つの会計が執行されることとなりましたので、予算概要を次のとおり紹介します。

町の平成27年度予算は、一般会計が59億1200万円で前年度当初予算と比較して6億8,900万円、10.4%減、特別会計総額では、5億5,200万円で前年度比較3,720万円、7.2%増となりました。一般会計と特別会計の合計では64億6,400万円(前年度比較6億5,180万円、9.2%減)となりました。

- 一般会計 税金などを主な収入とする町の基本的な事業予算
- 特別会計 下水道等の使用料など、特定の収入で行う事業予算

■一般会計・特別会計当初予算額

単位:千円

会計区分	本年度(H27)	本年度(H26)	伸び率%
一般会計	5,912,000	6,601,000	▲ 10.44
公共下水道事業	192,200	170,900	12.46
国保町立診療所	359,800	343,900	4.62
特別会計(合計)	552,000	514,800	7.23
総合計	6,464,000	7,115,800	▲ 9.16

■一般会計における予算の特徴

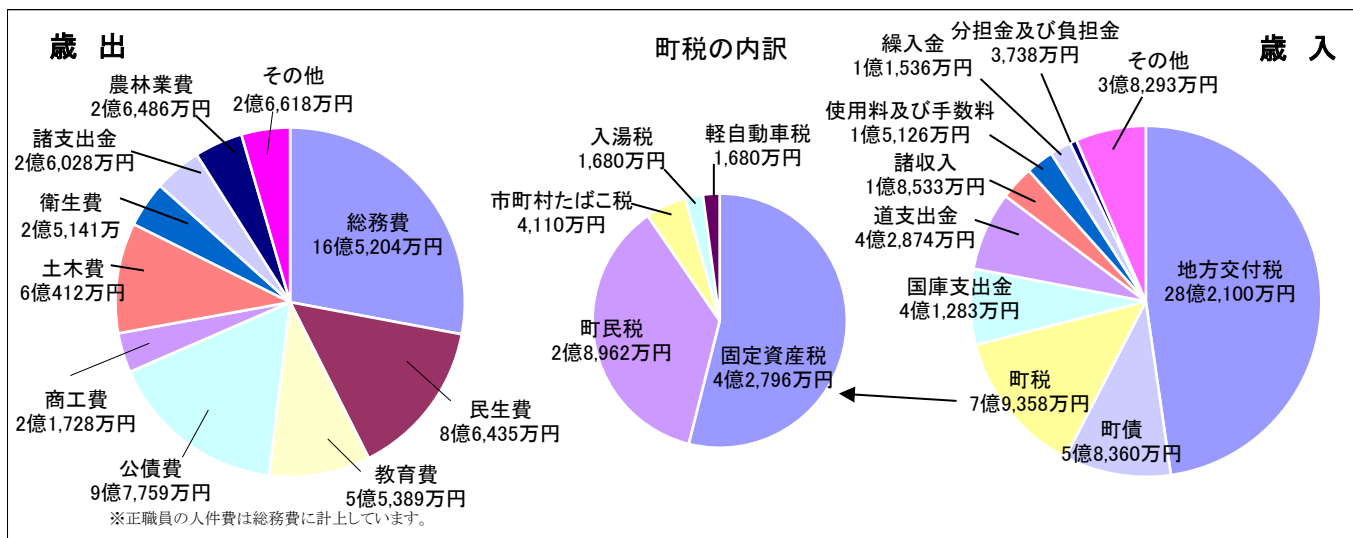
平成27年度の当初予算は、町長選挙の年であるため、骨格予算での編成になっています。一般会計は、59億1200万円であり、前年度の予算額と比べますと、▲6億8,900万円、10.4%減となりました。予算編成では、「新まちづくり計画プライムタウン21-II」の3年度目にあたり、実施計画に沿った事業の展開を図ることとし、毎年度に行う5カ年間の財政推計により適正な運営に努めているところです。

地方交付税は、地方財政計画では0.1兆円の減額、0.8%の減となりますが、本町における普通交付税の予算額は、辺地債や緊防債の有利な起債による補てん額があるため、前年度決定額と比較すると約1億8,400万円、8.4%の増を見込んでいます。

投資的事業では、東川小学校関連整備事業など大型のハード整備事業の終了に伴い対前年比で▲12億7,385万円、68.1%の減となりましたが、国・道補助金や、新たに平成27年度から計画が認定される「東川辺地」地区における辺地対策事業債を充当するなど特定財源の確保に努めました。

また、ソフト事業では、写真の町国際化推進事業、観光立国事業、留学生支援事業、行政区等地域活動推進事業、地域おこし協力隊事業等、特別交付税の対象となる事業の充実を図ることに重点をおいた事業費を計上しています。

■一般会計当初予算の構成比



■平成27年度の主な投資事業

【投資的事業】

- 橋梁長寿命化修繕事業63,000 (社会資本整備交付金)
- 西5号道路改良事業70,300 (社会資本整備交付金)
- 西3号道路改良事業10,000 (社会資本整備交付金)
- 除雪ダンプ(7t級他)購入事業32,470 (社会資本整備交付金)
- 南町1丁目雨水排水調整施設整備事業35,200 (社会資本整備交付金)
- 上岐登山道路改良事業73,000 (辺地債事業)
- 第2地区コミュニティセンター改修事業13,958 (辺地債事業)
- 阿波団体道路改良事業80,000 (辺地債事業)
- 第32・33区飲料水供給施設整備事業4,100 (辺地債事業)
- 天人峡地区引湯施設整備事業50,000 (辺地債事業)
- 南町1丁目団地整備事業22,200 (社会資本整備交付金・公営住宅債事業)